



Guy Fawkes Night：授業アイデア（簡単版）

ガイ・フォークス・ナイト（ボンファイア・ナイト）をテーマにした英語の授業アイデア 4本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 地下室の取り調べ：1605年ロールプレイ

中学・20分

🔗 過去形の疑問文と答え（What did you do? / Why were you there?）を使って、事件の場面を英語で演じられる。

- 本文の第1・2段落を読み、1605年11月5日の場面を確認する。
- 見張り役とフォークス役に分かれ、What is your name? / Why are you here? / What is under the wood? などの質問を準備する。
- フォークス役は最初 John Johnson と名のり、3つ目の質問で本当のことを話すルールで演じる。
- いくつかのペアが発表し、最後に本当の歴史（偽名、36樽、手紙）を確認する。

2. 人の名前から生まれた英単語さがし

高校・30分

🔗 guy のように人名から生まれた語（eponym）を調べ、語源を英語で説明できる。

- guy の語源（人名→人形→変な服の人→男→みんな）を板書で示す。
- sandwich, cardigan, boycott などの語を班に割り当て、辞書や信頼できるサイトで由来を調べる。
- This word comes from ... He/She was ... の型で3文の説明を作る。
- 班ごとに発表し、どの語の由来がいちばん意外だったか投票する。

3. 安全な花火の夜をつくろう：ルールづくり

小学校・15分

🔗 Don't ... / Please ... の命令文で、花火やたき火の安全ルールを英語で言える。

- ボンファイア・ナイトの写真を見せ、fire, fireworks, gloves, bucket などの語を確認する。
- Don't run near the fire. / Please stand behind the line. のような例と一緒に読む。
- 班で安全ルールを3つ考え、絵入りのポスターにする。
- ポスターを発表し、日本の花火大会や夏の手持ち花火でも使えるか話し合う。

4. 記念日は誰のもの？：記憶と政治を考える

大学・45分

🔗 歴史上の出来事を祝う行事の意味が、時代とともにどう変わるかを英語で分析し議論できる。

- advanced の英文を読み、反カトリックの起源、ルイスの旗、アノニマスのお面という3つの時代の意味を整理する。
- 日本の記念日や祭りから、意味が変わった例を各自1つ探す。
- Should festivals with a troubled history be changed or kept as they are? について班で賛否の論点を出す。
- 班の結論を2分で発表し、最後に200語の意見文を書く。



1. 地下室の取り調べ：1605年 ロールプレイ

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

🎧 ねらい

What is your name? / Why are you here? / What did you do? などの疑問文と答えを使い、1605年11月5日の地下室の場面を英語で演じられる。

📋 準備

- このサイトの英語ページ本文の第1・2段落と音声
- 国会議事堂の写真と、火薬の樽・ランタンの絵カード
- 質問カード（What is your name? / Why are you here? / What is under the wood? / Who are your friends? / What did you want to do?）をペアに1組
- 役割カード（見張り役 Guard／フォークス役 Fawkes）
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）の台本の枠

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	部屋を少し暗くするか、黒板にランタンの絵をはって雰囲気を作る。英語ページ本文の第1・2段落を音声で聞かせ、いつ・どこで・だれが・何を見つけたかを英語で確認する。36 barrels of gunpowder と13人の仲間の数字を板書する。	音声を聞き、時・場所・見つかった男・樽の数を答える。	"It is just after midnight on November 5, 1605." "Guards with lanterns walk into a dark room under Parliament. What do they find?" "Yes, a man next to a big pile of wood. How many barrels were under the wood?" "Right, 36 barrels of gunpowder."
展開1	5	ペアで見張り役とフォークス役を決めさせ、質問カードを配る。見張り役は質問を3つ選んで順番を決め、フォークス役は答えを準備する。ルールとして「フォークス役は最初 John Johnson と名のり、3つ目の質問で本当のことを話す」と伝える。	役を決め、見張り役は質問を選んで練習し、フォークス役は John Johnson としての答えと本当の答えを用意する。	"Make pairs. One of you is the guard. The other is Guy Fawkes." "Guards, choose three questions from the cards." "Fawkes, first say your name is John Johnson. That is a lie!" "At the third question, tell the truth."
展開2	6	立って向き合わせ、1回演じたら役を交代させる。見張り役には声を強く、フォークス役には最初とはぼけた態度で答えるよう演技の指示を出す。机間指導で疑問詞と be 動詞・did の使い分けを確かめ、発表してくれそうなペアを2組見つけておく。	ペアで2回演じ、役を交代する。質問と答えの英語を声に出して確かめる。	"Stand up and face your partner. Guards, use a strong voice." "Fawkes, at first you act like you know nothing. Just say, I don't know." "Now change roles and do it again." "Remember, ask with did for the past. What did you want to do?"
まとめ	5	2組に前で演じてもらう。そのあと本当の歴史を確かめる：フォークスは実際に John Johnson と名のったこと、樽は36あったこと、ある貴族に届いた1通の手紙で計画が見つかったこと。最後に「リーダーはフォークスではなくロバート・ケイツビーだった」と伝えて終わる。	発表を見て、本当の歴史と自分たちの演技を比べる。	"Let's watch two pairs. Give them a big hand." "Here is the true story. Fawkes really said, My name is John Johnson." "A letter warned a lord to stay away. That is how the plan failed." "One more thing. Fawkes was not the leader. The leader was Robert Catesby."

📋 板書例

November 5, 1605 London, under Parliament
guards → a man + wood → 36 barrels of gunpowder

Guard: What is your name?
Fawkes: My name is John Johnson. (うその名前)
Guard: Why are you here?
Fawkes: I don't know.
Guard: What did you want to do?
Fawkes: I wanted to blow up Parliament.

本当の歴史：偽名 John Johnson／36樽／1通の手紙／リーダーは Robert Catesby

✅ 評価のポイント

- Why are you here? / What did you want to do? など、疑問詞と現在・過去の形を場面に合わせて使えたか（演技中に見取り）。
- フォークス役が3つ目の質問で、過去形を使って本当のことを答えられたか。
- まとめで、偽名・36樽・手紙の3点を英語の本文と結びつけて言えたか。

👉 つまずきへの手だて

- 質問が言えない生徒には、質問カードの裏にカタカナではなく区切り線（What / is / your name?）を入れておき、区切って読ませる。
- 答えが作れないフォークス役には、答えの例（My name is John Johnson. / I don't know. / I wanted to blow up Parliament.）を書いたカードを渡す。
- 人前で演じるのが苦手な生徒は、発表ではなく先生とのペアで1回演じれば合格とする。

🌟 発展

- 見張り役に4つ目の質問（Who sent you? / Who are your friends?）を自分で作らせ、フォークス役は Robert Catesby の名前を出して答える。
- 基本セット p.6 の並べかえ（They wanted to blow up Parliament. など）で、事件の文を順番どおりに書く。
- 家庭学習で基本セット p.2 の TF（Guy Fawkes was the leader of the plot. など）に取り組む。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページ本文（第1・2段落）と音声
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- 基本セット p.2（4択・TF）、p.6（並べかえ）



2. 人の名前から生まれた英単語さがし

授業手順書（詳細版）／対象：高校／30分

Class _____ No. _____ Name _____

🎧 ねらい

guy のように人名から生まれた語（eponym）を調べ、This word comes from ... の型で語源を英語で3文で説明できる。

📁 準備

- guy の意味の変化を示す5枚のカード（a man's name → a doll → a strangely dressed person → a man → everyone）
- 調べる語のカード（sandwich / cardigan / boycott / saxophone / teddy bear / diesel）を班の数だけ
- 英英辞典または語源の載った辞書、スマートフォン（班に1台）
- このサイトの英語ページの会話（ケンタとオリビアの Hi, guys の場面）と音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	英語ページの会話の後半（you said guy. Like hi, guys? から No way! I say guys every day. まで）を音声で聞かせる。guy の意味の変化カードをばらばらに見せ、正しい順番を予想させてから、人名→人形→変な服の人→男→みんな の順に並べて板書する。	会話を聞き、guy の意味が変わってきた順番を予想する。	"Listen to Kenta and Olivia. What word surprises Kenta?" "Guy was first a man's name. Then it became a doll for the fire." "Put these cards in order. How did the meaning change?" "Today, hi guys can mean hi everyone, men and women."
展開1	10	このように人の名前から生まれた語を eponym ということを紹介する。班ごとに調べる語のカードを1枚ずつ配り、①どんな人の名前か ②その人と語はどうつながるか ③今の意味の3点を辞書で調べさせる。ウェブで調べる場合は辞書会社や百科事典のページを使うよう指示する。	班で担当の語を辞書で調べ、人物・つながり・今の意味をメモする。	"A word that comes from a person's name is called an eponym." "Each group gets one word. Find out three things." "Who was the person? How is the person connected to the word? What does it mean now?" "Use a dictionary or an encyclopedia. Not just any website."
展開2	5	This word comes from ... / He was ... / Today, it means ... の3文の型を板書し、班で発表原稿を作らせる。だれがどの文を言うかを決めさせる。	型を使って3文の説明を書き、役割を決めて練習する。	"Now write three sentences with this pattern." "This word comes from a man called ... He was ..." "Today, it means ... Each member says one sentence."
展開3	7	班ごとに1分で発表させる。聞く側はメモ用紙に語と人物を書き、いちばん意外だった語に印をつける。全員の発表後、挙手で「いちばん意外だった由来」を投票する。	1分で発表し、ほかの班の発表をメモしながら聞く。いちばん意外だった語に投票する。	"Group one, you have one minute. Please start." "Listeners, write the word and the person." "Which story was the most surprising? Raise your hand." "The winner is ... Congratulations!"
まとめ	3	guy は悪い人物の名前から、だれにでも使う言葉になった点を確認する。「意味がよくなった語」と「悪くなった語」があることにふれ、今日の語のうちどちらに当たるかを1つ答えさせて終わる。	guy の意味の変化をもう一度確かめ、ほかの語の意味がよくなったか悪くなったかを考える。	"Guy Fawkes was a bad man in history. But now guy is a friendly word." "Did the meaning get better or worse? Think about your word." "Great job, guys!"

📄 板書例

guy の意味の変化

Guy（男の名前）→ a guy（たき火で燃やす人形）→ 人形みたいに变な服の人 → a man（男、やつ）→ you guys（みんな）

eponym = 人の名前から生まれた語

sandwich / cardigan / boycott / saxophone / teddy bear / diesel

This word comes from a man called ____.

He was ____.

Today, it means ____.

✅ 評価のポイント

- 人物・語とのつながり・今の意味の3点を、辞書などの確かな資料から調べられたか（班のメモで確認）。
- This word comes from ... の型で、語源を英語の3文で説明できたか。
- ほかの班の発表を聞き、語と人物を正しくメモできたか。

👉 つまずきへの手だて

- 辞書の英文が難しい班には、語源欄の日本語訳がある辞書を使わせる。
- 調べ方がわからない班には、先生が最初の手がかり（sandwich なら Earl of Sandwich）を出す。
- 発表が苦手な生徒には、Today, it means ... の1文だけを担当させる。

🌟 発展

- 日本語で人の名前から生まれた言葉（例：「～流」や商品名）を探し、英語で同じ型で説明する。
- a penny for the guy という昔の決まり文句の意味を記事から調べ、子どもたちが人形を見せて回った習慣を英語で説明する。
- 家庭学習で基本セット p.7 の作文（One word I learned today is _____. It means _____.）を書く。

📖 使う教材

- このサイトの英語ページの会話と音声
- 基本セット p.7（作文）
- 発展セット（advanced の英文で、Fawkes の顔がシンボルになった話を読む）



3. 安全な花火の夜をつくらう：ルールづくり

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

🎯 ねらい

Don't ... / Please ... の文で、花火やたき火の安全ルールを英語で言える。

📦 準備

- ボンファイア・ナイトの写真（たき火と花火、手袋や帽子の家族）
- 絵カード：fire / fireworks / gloves / bucket / water / line
- 画用紙（班に1枚）と色えんぴつ
- 基本セット p.3（マッピング：fire・fireworks・gloves・lantern など）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	ボンファイア・ナイトの写真を見せ、「イギリスでは11月5日の夜、大きなたき火と花火を楽しむ」と伝える。絵カードを見せながら fire / fireworks / gloves / bucket を発音させる。	写真を見て、知っている英語を言う。絵カードの言葉をまねして発音する。	“Look at this picture. This is Bonfire Night in Britain.” “What can you see? Yes, a big fire!” “Fire. Fireworks. Gloves. Bucket. Repeat after me.”
展開1	4	Don't run near the fire. / Please stand behind the line. を、ジェスチャーをつけて読む。Don't のときは手で×、Please のときは手のひらを上に向ける動作を決め、先生が言った文に合う動作をさせるゲームを2～3回行う。	文をまねして読み、Don't なら×、Please なら手のひらの動作をする。	“Don't run near the fire. Make an X with your arms.” “Please stand behind the line. Show your hand like this.” “Listen and move. Don't touch the fireworks!” “Please wear gloves!”
展開2	5	班で安全ルールを3つ考え、画用紙に絵と英語の文を書かせる。黒板に Don't run / Don't touch / Please wear / Please keep water などのことばカードを並べ、選んで組み合わせると伝える。	班で3つのルールを決め、絵と英語でポスターを作る。	“Make three safety rules with your group.” “Draw a picture for each rule.” “You can use the word cards on the board.”
まとめ	3	2～3班にポスターを見せて読んでもらう。最後に「日本の花火大会や、夏の手持ち花火でも使えるルールはどれ？」と聞き、手をあげて答えさせる。	ポスターを発表し、日本の花火でも使えるルールを選ぶ。	“Show us your poster and read your rules.” “Which rule can we use in Japan, too?” “Great! Let's have a safe summer with fireworks.”

📝 板書例

Bonfire Night 🇬🇧 November 5（イギリス）

- ❌ Don't run near the fire.
- ❌ Don't touch the fireworks.
- 😊 Please stand behind the line.
- 😊 Please wear gloves.
- 😊 Please keep a bucket of water.

日本の花火でも使えるかな？

✅ 評価のポイント

- Don't ... と Please ... を、してはいけないこと・してほしいことに合わせて使い分けられたか（動作ゲームとポスターで確認）。
- 班のポスターに、伝わる英語のルールが3つ書けたか。

🟡 つまづきへの手だて

- 書くのが苦手な子には、ことばカードを画用紙にはらせ、写すだけでよいことにする。
- Don't と Please の区別がつかない子には、×と○のマークを文の頭に描かせる。
- 発表で声が出にくい子には、班の友だちと声をそろえて読ませる。

🚀 発展

- 早く終わった班は、4つ目のルール（Please listen to the adults. など）を加える。
- パーキンというショウガのケーキやトフィー・アップルを写真で紹介し、I want to eat ... とかわせる。
- 基本セット p.8 のなぞり書き・ぬりえで、fire・fireworksなどの語を書く練習をする。

📖 使う教材

- 基本セット p.3（マッピング）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）
- このサイトの英語ページの写真と単語の音声



4. 記念日は誰のもの？：記憶と政治を考える

授業手順書（詳細版）／対象：大学／45分

Class _____ No. _____ Name _____

🎧 ねらい

advanced の英文「Celebrating a Failure」を読み、ひとつの記念日の意味が時代によってどう変わったかを整理したうえで、問題のある起源を持つ行事を変えるべきかについて英語で議論できる。

📋 準備

- advanced の英文「Celebrating a Failure」（このサイトの発展セット）
- 整理表のワークシート（時代・行事の意味・具体例・本文の根拠の4列、3行）
- 日本の記念日・祭りの例を探す用のスマートフォンまたはPC（班に1台）
- タイマー

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	ガイ・フォークスのお面の写真を見せ、「この顔はだれか」と聞く。抗議のデモで使われる顔だと答えが出たら、「この男は何世紀ものあいだ、人形として燃やされてきた」と伝え、なぜそのようなことが起きるかを問いかけて本文へつなぐ。	お面を見て知っていることを話し、本文を読む問いをつかむ。	"Have you seen this mask before? Where?" "This is the face of Guy Fawkes. For centuries, people burned dolls of him." "Now some people see him as a hero. How did that happen?" "Let's read and find out."
展開1	12	本文を個人で黙読させ、整理表の3行（初期・その後・現代）を埋めさせる。初期は議会の法律による感謝の礼拝と反カトリック、1859年の廃止、次に家族の花火の夜とルイスの No Popery の旗、現代はグラフィックノベルと2005年の映画で抵抗の象徴になったお面。ペアで答え合わせをさせる。	本文を読み、3つの時代の意味と根拠を表にまとめる。ペアで確認する。	"Read the passage silently. Then fill in the table." "There are three periods: the early years, later years, and today." "What did the law require? When was it repealed?" "Check with your partner. Use the exact words from the text."
展開2	8	日本の記念日や祭りから、意味が変わった例を各自1つ探させる。見つからない学生には、紀元節から建国記念の日、新嘗祭と勤労感謝の日、天皇誕生日からみどりの日・昭和の日への変化などを候補として示す。見つけた例を班で共有させる。	日本の例を1つ調べ、以前の意味と今の意味を班で説明し合う。	"Now find one example from Japan." "Choose a holiday or a festival whose meaning has changed." "What did it mean before? What does it mean now?" "Share your example with your group."
展開3	12	問い Should festivals with a troubled history be changed or kept as they are? を示し、班で賛成・反対の両方の論点を2つずつ出させる。本文のルイスの例や自分たちの日本の例を必ず1つ根拠に入れるよう指示し、班としての結論を決めさせる。	班で両方の立場の論点を出し、根拠をつけて結論を決める。	"Here is the question. Should festivals with a troubled history be changed or kept as they are?" "Give two points for each side." "Use one example from the passage, like Lewes, and one from Japan." "Then decide your group's answer."
まとめ	8	各班が結論と理由を2分以内で発表する。先生は根拠が本文のどこにあるかを確かめながら進める。最後に、次回までに200語の意見文を書く課題を出す。	班の結論を発表し、ほかの班の理由を聞く。意見文の課題を確認する。	"Each group has two minutes. Tell us your answer and your reasons." "Where in the passage is that? Show us the line." "For homework, write a 200-word opinion essay on this question."

📄 板書例

Celebrating a Failure

時代 / 意味 / 具体例

- ① early years / political + religious / act of Parliament → services of thanksgiving, effigies of the Pope (law repealed in 1859)
- ② later / a family event / fireworks; Lewes: No Popery banner (shut out in the 1950s)
- ③ today / a symbol of resistance / graphic novel + 2005 film → the mask

日本の例：紀元節 → 建国記念の日 など

Q. Should festivals with a troubled history be changed or kept as they are?
change ⇔ keep

✅ 評価のポイント

- 整理表の3つの時代を、本文の語句を根拠に正しく埋められたか。
- 日本の例について、以前と今の意味の違いを具体的に説明できたか。
- 班の結論に、本文と日本の例の両方から根拠を出せたか（発表と意見文で確認）。

👉 つまづきへの手だて

- 読むのに時間がかかる学生には、このサイトの和訳を段落ごとに見てよいことにする。
- 表が埋まらない学生には、各段落で時代を示す語句 (In its early years ... / Over time ... / Meanwhile ...) に下線を引かせ、そこから探させる。
- 英語で発言しにくい学生には、We think ... because ... の型と、For example, in Lewes ... の型を配る。

🌟 発展

- 英語ページ本文の最後のわらべ歌 Remember, remember the fifth of November を読み、記念日を覚えさせるしくみとして歌が果たした役割を考える。
- 発展セットの paraphrase と summary に取り組み、本文の要点を約50語で書く。
- お面が1つ売れるたびに映画会社に入用が入るという記事の豆知識を読み、抵抗の象徴とビジネスの関係について短い意見を書く。

📖 使う教材

- 発展セット（advanced の英文と問題）
- このサイトの英語ページ（本文最終段落と音声）
- アクティビティ集 B5（国くらべ：ルイス・ニュージーランドなど地域ごとの祝い方）